

## Editorial Comments

### CICIAMSからのご挨拶を申し上げます

国際会長、ジェラルディン  
マクスウィーニーさん。今年のCICIAMSニュースのお届けが少し遅れてしまい、申し訳ございません。その理由の一つは、2018年が私たちの議会の年であり、私たちは多くの時間とエネルギーを費やして、

このCICIAMSニュースの発行に尽力いただいた、専門委員会委員長のKhosimthethwa博士と委員会メンバーの皆様にご挨拶申し上げます。本号に掲載された論文を執筆された皆様にも感謝申し上げます。神が皆様にこれからも恵みを与えてくださいますように。

議会と選挙  
成功しました。神に感謝し、会議は大成功のうちに終了しました。会議の全文は、CICIAMSニュースの今号に掲載されています。

このクリスマス版のニュース速報では、多くの読者の皆様に、xx世界会議で発表された論文の内容にご注目いただきたいと思えます。

テーマ「教育  
持続可能な健康

魅力的な開発：  
生命を尊重すること。内容が豊かで非常に啓発的な論文は、インパクトのあるものにすべきです。私たちは自分自身を教育する必要があります。そして、他者を教育する必要があります。なぜなら、教育は持続可能な健康と幸福を実現するための確実な方法の一つだからです。

発展の過程で、そして記事の一つに記されているように、「我が民は知識の欠如によって滅びる」。したがって、会議で示された提案を各レベルの軍隊で実行に移す努力は、会議をより影響力のある、成果志向のものにする上で大いに役立つだろう。

また、この号では、CICIAMS が積極的に関与するよう招かれ、国際会長のジェラルディン・マクスウィーニーが代表として出席した、一般の看護師の初の列福式に関するニュースをお届けします。



落ち着いてニュースを読むにあたり、CICIAMS は皆様がいよいよクリスマスと、CICIAMS を前進させる希望と決意に満ちた新年を迎えられるよう祈念いたします。

楽しい読書を！





## CICIAMS XX 世界会議報告書



### 導入

CICIAMS XX世界会議は4日から7日まで開催されました。<sup>2018</sup> 2018年9月、マレーシア サラワク州クチンのリバーサイド マジエスティック ホテルにて。

会議のテーマは「持続可能な健康のための教育 : 開発への関与、生命の尊重、

国連の持続可能な開発目標 (SDGs)の16の健康関連目標のいくつかに触発され、専門家にとって貴重なプラットフォームとなりました。

これらの目標についてカトリックの観点から議論と批判的検討が行われました。持続可能な健康を世界規模で達成するためには、人々が

十分な教育を受けており、看護師と助産師は医療の主要な関係者としてこの任務を遂行する上で強力な立場にあった。

この会議はマレーシア・カトリック看護師ギルドの主催で開催され、CICIAMSの活動地域であるヨーロッパ、アジア、パンアメリカ、そして英語圏アフリカから300名を超える参加者を熱烈に歓迎しました。ヨーロッパからは、アイルランド、イングランド、ウェールズ、そしてオランダからの参加者がありました。

アジアからは、開催国マレーシア、シンガポール、インド、日本、韓国、パキスタン、タイ、香港、ブルネイが参加しました。汎アメリカからは、アメリカ合衆国、メキシコ、CICIAMS新加盟協会 (カナダ)が参加しました。英語圏アフリカからは、ナイジェリア、ケニア、ザンビア、南アフリカ、エスワティニ王国が参加しました。大会には合計307名が登録し、マレーシアから137名、その他の国から170名が参加しました。

CICIAMSは、人間開発促進省長官の出席を得て栄誉を受けました。

展開 枢機卿KAピーター・タークソン殿下。クチン大司教、サイモン・ポー殿下。在マレーシア使徒公使、ジョセフ・サルバドール・マリノ牧師、マレーシア司教協議会司牧医療委員会委員長コーネリアス・シム司教、

シンガポールとブルネイ。CICIAMS国際ショナル聖職補佐のトーマス・ネアン神父 (OFM)と、CICIAMS加盟協会の各国および支部のチャプレンも出席しました。また、元駐バチカンマレーシア大使のタン・スリ・バーナード・ドン・ポック氏も出席しました。

2018年9月4日 (火) オープニングミサ<sup>TM</sup>

会議は共同ミサで開幕した。

2018年9月4日 (火)の夜、KAピーター・トルクソン枢機卿が主司式を務めました。感動的な説教の中で、トルクソン枢機卿は、イエス・キリストが持続可能な健康を与えてくださったこと、そしてそれゆえに、いのちの奉仕者であるカトリックの看護師は、患者を教育し、生命を尊重することでキリストの模範に従うよう命じられていることを述べました。この説教は参加者の意識を集中させ、会議のテーマを的確に捉えました。

ミサの後は歓迎ディナーが行われました。素晴らしい料理と温かいおもてなしが行われました。

マレーシア・ギルドのメンバーによる歌と踊りのパフォーマンスは、参加者全員を魅了しました。ミサと夕食は大会の始まりにふさわしいものでした。そして、夜の祈りで幕を閉じました。

2018年9月5日水曜日<sup>2018</sup>

その日は朝の祈りで始まりました。



## 開会式

開会式は華やかな幕開けとなりました。ダトゥク・アマル・ダグラス氏、ウガ・エンバス氏、副首相兼農業・自然・地域開発近代化大臣、そしてプラットフォーム関係者の入場で幕が開きました。マレーシアとサラワクの国歌が演奏されました。サイモン・ポー大司教の先導による祈りの後、点呼と参加国の国旗パレードが行われました。ダトゥク・アマル・ダグラス・ウガ・エンバス氏とピーター・K・A・トルクソン枢機卿による式典のゴングが鳴り響き、会議の正式な開会が告げられました。

## プロフェッショナルセッション

持続可能な開発が初日のテーマでした

### 午前のセッション – 国際的な視点

最初の基調講演者はピーター・KA枢機卿でした

トルクソン氏は、「人間開発の総合的側面と健康増進におけるカトリック看護師の役割」というテーマで講演しました。トルクソン氏は、教皇庁の使命は、人間の尊厳（正義と平和）、開発、移民、医療、慈善事業、被造物の保護、そして教皇庁の使徒職に関する問題に対する、聖座の科学的かつ司牧的な対応を促進することであると述べました。トルクソン氏は開発を包括的なアプローチから説明し、開発は包括的なものでなければならず、経済成長に限定されるべきではないと述べました。トルクソン氏によれば、開発はすべての人々のためのものであり、人間全体に関わるものであり、社会統合の他の実現可能なモデルに関わるものであり、不平等を助長するものではないとのこと。開発は、個人、政治、文化、精神、社会、経済など、人生のあらゆる側面を網羅し、あらゆる年齢層の人々に及ぶと述べました。

トルクソン枢機卿はまた、カトリックの医療使命は、ルカによる福音書第9章第2節から第6節、マタイによる福音書第10章第1節から第8節に示されているように、キリストの使命に忠実に従い、キリストの模範に従ったキリストの治癒の働きに根ざしていることを参加者に思い起こさせた。

教皇は、カトリック看護師は、すべての人々、特に最も弱い立場にある人々に奉仕し、質の高いケアを提供し、貧しい人々や社会的に疎外された人々の権利擁護とケアを行うという、深く深遠な使命を担っていると述べた。看護師は、人間全体を、その奪うことのできない尊厳、権利、そしてニーズを認識し、包括的かつ思いやりのあるアプローチを取らなければならないと教皇は述べた。教皇は参加者に対し、受胎から自然死に至るまで、人間の生命の神聖さを尊重し、キリスト教的愛を医療の原動力とし、癒しと思いやりをキリストの使命の継承と捉えるよう強く求めた。

2人目の基調講演者である医学・保健サービス学部のアンドリュー・キコ教授は、

マレーシア大学サラワク校は「看護と持続可能な開発：私たちの

責任、私たちの未来、私たちの選択。

プレゼンテーションで、キコ教授は持続可能な開発の3つの柱、すなわち経済と社会の発展を特定しました。

開発、社会開発、環境保護である。彼は、これら3つの柱は

相互依存し、相互に強化し合う。彼は、持続する必要があるものとして、自然、生態系、資源、環境、文化を挙げた。

人、経済、社会など、様々な側面に焦点を当て、持続可能な開発における看護の役割を3つのレベル、すなわち地球、地球規模、職場、個人、そして家族として特定しました。地球規模では、これらの役割は17の持続可能な開発目標（SDGs）に深く根ざしていると述べました。職場では医療サービスが、個人レベルでは廃棄物の量を減らし、可能な限りリサイクルし、可能な限り材料を再利用し、使用する材料と廃棄する材料を再考する必要があります。参加者には、常に地球規模で考え、地域に根ざした行動をとるよう促しました。キコ教授は、グリーンナー・ヘルスケア・キャンペーンが特定した持続可能な臨床実践の4つの原則、すなわち疾病予防と健康増進、患者教育、そして

エンパワメント、無駄のないサービス提供、環境への影響が少ない治療法や医療技術の優先的な利用などです。

### 午後のセッション – 子どもと若者の福祉問題：地域・国の視点

このセッションは、各CICIAMS地域からの講演者による円卓討論の形で行われました。イングランドおよびウェールズのカトリック看護師協会からの最初の講演者であるジャネット・ムチェンワ氏は、「子どもと若者の福祉問題 - 英国の視点」というテーマで講演しました。ムチェンワ氏は、安定した家庭生活が子どもの学習と発達、そして社会全体の健全な機能にとって最も重要であると述べました。彼女は、子どもが他者との関係を築く上で長期的な困難を抱え、反社会的行動をとることが、家族における早期の情緒的愛着の確立を困難にしていると指摘しました。子どもの反社会的行動を助長するその他の要因としては、安定した父親の不在、女性の連続的な交際、結婚生活の破綻、社会的孤立、貧困などが挙げられます。これらの課題にもかかわらず、ムチェンワ氏は次のように述べています。

子どもとその家族と関わる助産師や保健師などの専門家が、子どもの健康をより良くするために常に待機しています。

特に基礎教育段階においては、将来問題を引き起こす可能性のあるリスク要因に対処することが重要です。英国では、あらゆるレベルにおいて児童の安全確保が最優先事項であり続けると述べました。「健康な児童プログラム」をはじめとする様々なサービスは、児童の健康と生命を守るために導入されています。



ナイジェリアの観点から言えば、ミセスは次のように述べた。ロザリン・オコボ氏は、ナイジェリア政府が子どもと若者の福祉を守るために多くのプログラムを実施していると述べた。彼女は、子どもの権利法の制定、子ども議会の発足、国家青少年政策の創設、そして青少年省の設立など、その一部を挙げた。また、貧困など、若者に影響を与える多くの問題にも言及した。

差別、児童虐待、教育を受ける権利、児童婚、女性器切除といった問題が深刻化しています。彼女は、経済状況の悪化は若者に特に大きな影響を与えており、失業率の高さが、強盗、誘拐、薬物乱用、カルト主義といった反社会的行動に走らせる若者もいると述べました。

好戦性。

マリア・ルイーザ・アルバレス・レデスマ、メキシコ出身  
子どもと若者、被害者または  
現代の主人公。

彼女はプレゼンテーションの中で、メキシコの若者が直面する課題として、暴力、児童婚、10代の妊娠、栄養不足、誤ったリプロダクティブ・ヘルス教育などを挙げ、こうした状況が若者の福祉を享受する権利を損なっていると指摘しました。子どもや若者は、見捨てられ、拒絶され、屈辱を受け、裏切られ、無関心になり、不当な扱いを受けることで傷ついていると彼女は述べました。彼女は、このような悲惨な状況を踏まえ、子どもや若者の福祉への取り組みは緊急課題であり、行動を起こす必要があると述べました。子どもは普遍的に人間として認められるべきであり、「子どもや若者により良い遺産を残すべきだ」と述べました。

シンガポールのジャネット・チョン氏は、シンガポールにおける児童・青少年の福祉問題について講演しました。チョン氏は、主な焦点は親の支配下でない子どもたちであると述べました。彼女は、国連児童権利条約、児童・青少年法、強制的児童保護法など、シンガポールでこの点に関して用いられている多くの法律や条約を引用しました。

教育法、そして危険にさらされている若者のためのプログラム。彼女は、社会家族開発省は、子どもと若者が良き市民として、そして社会的に責任ある大人へと成長し、発展していくための環境を提供することで、彼らをエンパワーメントしていると述べた。

義務教育法の下では、子供を学校に通わせない親は、罰金や懲役刑を含む規定の罰則を伴う犯罪を犯したことになる」と主張した。児童青少年法に基づく保護は、

16歳未満の児童および青少年の保護、ケア、更生

彼女はまた、上記に加えて、牧会的ケアは学校システムの構造的組織における教育と学習の全体に完全に統合されており、

学生と教職員の個人的、社会的幸福と学業上のニーズを満たします。

その後、公開討論が行われました。

ミサ :この日は、マレーシア駐在教皇大使ジョセフ・サルバドール・マリノ大司祭を主司祭とする共同ミサで締めくくられました。ミサの後、参加者はサラワク川沿いのクルーズと夕食を楽しみました。

2日目: 2018年9月6日木曜日。

この日のテーマは「ホリスティックケア」でした。

この日は神父様による朝の祈りで始まりました。アロイシウス・フィデリス、マレーシア・カトリック看護師組合の全国牧師。

続いて、最初の全体会議のプレゼンテーション「カトリックの伝統: 身体を癒す際に精神を尊重する」が行われました。講演者はCICIAMSです。国際教会補佐、トーマス・ネアン神父 (OFM)。ネアン神父は講演の中で、「医療従事者のための新憲章」(パチカン市国、2017年)を引用し、看護は教会の司牧・福音宣教活動の一部であると指摘しました。CICIAMS倫理ガイドライン (2014年)によれば、看護は生き方であり、人間関係であり、技術的かつ倫理的な責任をもって実践されなければなりません。看護においては、病者の尊厳と権利は、状況や社会的地位に関わらず尊重されなければならないと述べました。また、尊敬とケアは一体であるため、身体的、精神的、感情的、社会的な側面を含め、人全体を考慮に入れなければならないと述べました。

彼は看護師をケア、良心、そして敬意の中心に据えていると考えています。生命は神からの貴重な贈り物であり、その自然な終焉まで尊重され、ケアされなければならないと彼は述べました。論文によれば、これらのことは、患者に精神的な支えを与え、真実を伝え、自分の状態を理解するために必要なあらゆる情報を提供すべきであることを示唆しています。

2つ目の全体会議の発表は、CICIAMSアジア地域会長のテレサ・チョン博士によって行われました。「世界におけるホリスティック・ヘルスの推進」と題されたこの発表の中で、チョン博士は、国連が世界的にホリスティック・ヘルスケアを提供するために行ったいくつかの取り組み、例えば「健康の普遍的定義」、「2000年までにすべての人に健康を」というアルマ・アタ宣言、各国政府やその他のセクター、そして独立機関の関与、そして社会経済発展のための重要な資源としての健康の優先化などを強調しました。彼女は8つの重要な取り組みを挙げました。

健康の次元、すなわち社会的、感情的、精神的、知的、身体的、経済的、



環境的側面と職業的側面。

3つ目の全体会議の発表は、南アフリカのマツェリソ（ツイディ）・モリギラネ氏によって行われました。「持続可能な社会のメンタルヘルスの実現」と題されたこの発表では、メンタルヘルスとは、すべての個人が自身の潜在能力を発揮し、日常生活のストレスに対処し、生産的で実りある仕事に就き、地域社会に貢献できる幸福な状態であると定義しました。また、メンタルヘルスの不調の原因は生物学的要因と環境的要因に分類できると述べました。生物学的要因は脳の構造、遺伝的神経化学、または神経化学的要因であり、環境的要因は

慢性的なストレス要因としては、経済的困難、トラウマ、児童虐待、家族や人間関係の問題などが挙げられます。また、貧困による質の低い生活習慣や薬物乱用も病因の一つです。WHOの報告によると、世界人口の25%が精神的または精神的な問題を抱えています。

人生のある時点で神経疾患に罹患する人は少なくありません。そのため、持続可能なメンタルヘルスを実現するためには、地域のニーズに適した政策変更と、あらゆる関係者との効果的な連携が不可欠です。文化的・社会的規範の変革も不可欠です。また、社会情緒的学習と発達に焦点を当てた幼児期の介入において、強力なリーダーシップが不可欠であると提言しました。

午後のセッション - 円卓会議2高齢者福祉問題 - 地域・国の視点

このセッションの最初の講演者は、アイルランド出身のスーザン・マクゴールドリック氏でした。「高齢者の福祉問題：ポジティブ・エイジングの枠組み - アイルランドの視点」と題された論文の中で、マクゴールドリック氏は高齢者の福祉問題は人類にとって最も重要な課題の一つであると述べました。カナダのガバール博士の言葉を引用し、社会におけるポジティブ・エイジングの枠組みを構築するには、子どもや若者にとって前向きな環境を確保する必要があると述べました。また、高齢者のケアにおいては、高齢者がしばしば直面する様々な身体的、精神的、霊的、心理的要因を認識する必要があると述べました。マクゴールドリック氏は、子どもと高齢者の双方にとって、居住地、学習場所、就労場所、そして遊び場が健康に大きな影響を与えると述べました。マクゴールドリック氏によると、人々が多くの時間を過ごす場所、例えば家庭、職場、学校、地域社会などで実施されている政策が、健康的な生活を送ることを容易にしたり困難にしたりするとのこと。マクゴールドリック氏は、高齢者に影響を与える健康問題として、以下を挙げました。

栄養失調、認知機能障害、身体障害、性感染症、感覚障害、口腔衛生問題、認知症、膀胱・腸機能障害。彼女は、より良い老後を送るための10のヒントを提案した。運動、健康的な食事、禁煙、前向きな姿勢を持つ人々との交流、定期的な健康診断、目の保護、紫外線への曝露を避けることなどだ。

太陽を浴び、十分な良質の睡眠をとり、適切な財務アドバイスを受けましょう。

このセッションの2番目の講演者は、CICIAMS パンアメリカン地域会長のマリアン・ノック博士でした。

彼女の論文は「パンデミック、災害、紛争における高齢者の福祉の保障」と題されていた。

ノック博士はプレゼンテーションで、公衆衛生上の緊急事態を自然災害と人為的災害の2つに分類しました。自然災害としては、ハリケーン、洪水、火災、降雪、嵐などを挙げ、日本、フィリピン、アメリカ合衆国など、何らかの自然災害に見舞われた多くの国々を挙げました。

彼女はまた、テロ、有毒物質の流出、爆発といった人為的な災害についても言及しました。さらに、災害時における高齢者介護者のための戦略として、病院でのケアと地域ケアを提案しました。

彼女は、高齢者のケアにおいては、心、体、そして精神のすべてを考慮する必要があると述べた。彼女は、公衆衛生局、高齢者支援団体、宗教団体や地域団体、ボランティア、社会福祉機関、交通機関、高齢者登録機関、医療施設といった機関や団体との連携によるケアを提案した。

スワジランド（現エスワティニ王国）のグチニル・ブテレジ博士は、スワジランドの観点から見た高齢者問題に関する論文を発表しました。

60歳以上の高齢者を「高齢者」と呼び、そのような人々は通常、非常に尊敬されていると述べた。エスワティニ王国の総人口の5%にあたる約5万5000人が高齢者であり、無料の医療サービスや政府の診察など、政府による手厚いケアを受けていると述べた。老齢は神からの祝福であり、老いることを恐れる必要はなく、むしろ10代の頃から老後への準備を始めるべきだと彼女は述べた。

ブテレジ博士は、高齢者介護における看護師の役割は社会的、個人的なケアに重点を置くべきであり、看護師は高齢者に対して優しさや敬意を示し、特に高齢者の中にキリストを見る責任があると述べた。

マレーシアのシディア・ジョン・シオブ教授は、「高齢者の健康に関する問題と課題」というテーマで講演しました。講演の中で、シオブ教授は高齢者が抱える問題と課題として、慢性疾患、併存疾患、認知機能や記憶障害を挙げました。

機能障害、機能障害、医療依存、そして年齢差別。彼女は高齢者の慢性疾患として、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病を挙げた。肥満、失禁、認知症、うつ病、関節炎、白内障、腎臓病、心血管疾患といった疾患も一般的であると述べた。



しかし彼女は、高齢者の人生における強さ、希望、そして気質の重要な要素として宗教性を捉え、高齢者のケアにおいては精神的な側面を考慮する必要があると提言した。介護者は、高齢者の話を聞き、必要な慰めを与え、痛みや苦しみの時には寄り添い、必要に応じて対処戦略を確立しなければならないと彼女は述べた。その際には、健康状態に関わらず、高齢者の経験の多様性を考慮する必要がある。

介護者は、多様性の根底にある不平等に対処し、年齢差別を避けなければならない。

固定観念や先入観を捨て去るべきだ。高齢者には、自らの課題や社会の変化に適応し、それに応じた生き方を選べる力を与えるべきだと彼女は述べた。

議論の後、委員会委員長のコルネリウス・シム司教の司式により共同ミサが行われた。

司教協議会の教会医療

マレーシア、シンガポール、ブルネイ。

ホスピタリティナイト:

ホスピタリティ・ナイトは、クチンのグランド・マゲリータ・ホテルのプールサイドで開催されました。歌や踊り、参加国の豊かな文化の展示、そして夕食が披露され、参加者全員が大いに盛り上がりました。最後は夜の祈りで締めくくられました。

3日目: 2018年9月7日(金)

一日は朝のお祈りから始まりました。

この日のテーマは「医療専門家の役割」でした。

第4回全体会議では、米国およびCICIAMSの国連/DPI代表であるパトリシア・セイヤーズ博士が講演を行いました。テーマは「高齢化、出生率、そして代替移民における看護の役割」:

グローバルアップデート。彼女は、生殖能力の健康とは、単に生殖疾患や虚弱がない状態ではなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態であると定義しました。これは、人生のあらゆる段階における生殖のプロセス、機能、システムを網羅しています。彼女は、リプロダクティブ・ヘルスの一側面としての家族計画は、持続可能な開発目標 (SDGs)のすべて、すなわち経済的繁栄、女性の雇用、労働力の参加、環境保護、物質的健康および子どもの健康の向上を達成するための鍵として推進されていると述べました。彼女は、リプロダクティブ・ヘルスは

社会で推奨されている治療法は、カトリックやその他の価値観、信念、教えに反するものであり、ピリングスやマルケットといったカトリックの教えに沿った治療法への変更と導入を主張しました。彼女は特に、不妊治療の健康と啓発活動に携わるカトリックの看護師の役割を強調しました。

彼女は、カトリックの教えに沿った証拠に基づく方法での看護師の資格認定、クリニックのアクセスのしやすさと手頃な価格、そしてサービスは文化に配慮したものであるべきだと主張した。

高齢化に関しては、高齢者看護のスキルとサービスを拡大する必要があると彼女は述べた。看護師は

健康と安全

環境/コミュニティと提案

この方向への年長看護師の援助と貢献。

彼女は、移民のための医療制度の計画に看護師が関与すること、移民サービスに従事する看護師にインセンティブを与えることを求めた。

都市化に関しては、都市部における看護師の存在を強化し、計画に看護師を関与させるべきだと彼女は述べた。

第3回円卓討論会のテーマは「現代世界における持続可能な公衆衛生の発展を確保するための看護師と助産師の役割 :地域/国家レベル」でした。

展望。

グローバル

ケアのCICIAMS助産師会長アン・カビムバ氏によるこのトピックの視点

同委員会の委員長は、公衆衛生における看護師と助産師の役割は歴史的、聖書的、政治的背景に由来し、これらの役割は女性が妊娠する前から始まり、女性の生涯を通じて継続し、家族や地域社会にまで及ぶと述べ、これは使命であり、ユニークなタイプのサービスであると付け加えた。

さらに彼女は、その役割は病人だけにとどまらず、アドボカシー、地域組織、健康教育、政治・経済・社会改革、そして協力も含まれると述べた。彼女は、公衆衛生開発における政策指標として、以下のようなものを挙げた。

社会的・精神的に明確な医療従事者、機能的な医療システム、質の高い公平な母子保健、アドボカシー、効果的なコミュニケーションネットワーク、大気汚染の削減、騒音の低減、乳児死亡率の低下。彼女は本日、看護師と助産師が公衆衛生上の対象者に焦点を当てたケアを提供していると述べた。また、健康上のニーズや問題を特定し、それに応じて対応している。彼らは、様々なニーズや期待を持つあらゆる年齢層の人々を支援している。彼女はまた、公衆衛生における看護師と助産師のケア活動には、疾病と健康の保護、アウトリーチ/スクリーニング、健康ニーズの評価などが含まれると述べた。

紹介/フォローアップ、コミュニティの能力構築、ケース管理とケア計画、健康促進の相互連携とパートナーシップ、ソーシャルマーケティング、政策の施行など。

論文によれば、これを行うには、介入戦略を適応および採用し、証拠に基づく看護および助産の実践を活用し、公衆衛生研究の完全性を保護しなければならない。

メキシコ出身のマリア・デ・ヘスス・アルサバタ氏は、「すべての看護職にとっての課題」と題したプレゼンテーションで、健康はもはや個人的な問題ではなく、社会全体にとって不可欠なものであると述べました。彼女は、国際社会が近年、30億人が1日2ドル未満で生活し、極度の貧困に陥っていることに注目していると指摘しました。



健康リスク。毎年300万人の5歳未満の子供が、不適切な健康状態、事故、中毒により死亡している。

国家、地域、国際レベルで様々な進歩が見られました。例えばラテンアメリカ・カリブ海地域においては、マリア氏が指摘したように、不平等、暴力、そして治安の悪化が主な課題となっており、教育や医療サービスへのアクセスが困難になっています。彼女は、健康な国民こそが国の資源であると述べました。

そのため、彼女は、看護師が個人レベルでも集団レベルでも自分の仕事を大切に、持続可能な開発目標の具体的な目標に全力を注ぐことができれば、**開発目標。これらの目標は達成できる可能性がある。**これを達成するには、看護師は地域社会に配慮しながら優先分野に努力を集中する必要があると彼女は述べた。

インドの視点から、サラ・マクワン氏は、国民の健康と福祉の面で直面している課題は非常に大きいと述べ、この理由から、すべての看護師と助産師は慈悲の天使となるよう求められていると語った。

彼女は、性的虐待、自然災害、暴力、貧困、薬物乱用といった公衆衛生上の課題を挙げ、さらに、

家父長制とそれに伴う特性は、公衆衛生上の大きな課題であり、看護師と助産師の役割を非常に困難なものにしている、と彼女は述べた。看護師はこれらの課題に立ち向かうために十分な訓練を受ける必要がある、と彼女は述べた。看護師が自分自身と他者への理解を深めたとき、自分が他者に見たいと思う変化そのものとなるだろう、と彼女は述べた。彼女は看護師を、ケア提供者、教育者、擁護者、管理者、協力者、指導者、そして研究者とみなしている。彼女は、公衆衛生看護師は、潜在的な問題を特定するために地域社会の健康状態を監視する、健康上の問題を診断・調査する、特にリスクのある人々に健康問題に関する情報を提供し、教育し、エンパワーメントを図る、地域社会のパートナーシップを結集する、個人と地域社会の健康を支援する計画と政策を策定する、健康を守る法律と規制を施行する、など、以下の重要なサービスを遂行するように訓練されている、と述べた。彼女はすべてのカトリックの看護師に対し、公衆衛生をより持続可能なものにする方法を熟考するよう呼びかけた。

この円卓会議に続いて、日本の山口郁乃氏による平和アピールが行われました。このアピールでは、核兵器に関するプレゼンテーションが行われました。山口氏はプレゼンテーションの中で、広島への原爆投下の壊滅的な影響を想起し、世界の指導者とすべての人々に対し、このような惨事の再発を防ぎ、あらゆる形態の核兵器の使用を阻止するために、あらゆる可能な行動をとるよう呼びかけました。

会議終盤にもう一つ興味深いセッションがありました。マレーシアのブリジット・ユー氏による詩の朗読です。「看護における共感の芸術」と題された詩は非常に興味深く、

教育。看護師には常に患者に共感を示すよう求めました。

CICIAMS専門委員会委員長のコシム・ムテトワ博士は、会議総括の中で、会議全体を簡潔に要約し、全体を締めくくりました。この要約は、まさに知的な作品と言えるでしょう。彼女はこの機会を利用して、マレーシア・カトリック看護師組合のメンバーに感謝の意を表し、会議の成功を祝福しました。

参加者を代表して、マレーシアカトリック看護師ギルドへの感謝の意が、CICIAMS英語圏アフリカ地域会長のルーシー・ワング・タンガ氏から述べられました。ワング氏のタンガは、主催者の素晴らしい組織、歓迎、おもてなし、理想的な会場、そして参加者の選択に関する正確な情報に敬意を表しました。

会議前に宿泊施設が提供されます。  
続いて、国際会長ジェラルディン・マクスウィーニー氏によるCICIAMS執行委員会メンバー選挙の結果発表が行われました。マクスウィーニー氏はこの閉会セッションの議長も務めました。マクスウィーニー氏は、CICIAMS執行委員会メンバー選挙の結果を発表しました。

#### CICIAMS総会第4回

2018年9月、ナイジェリアのカトリック看護師組合のドナトゥス・M・アクパン氏が事務局長に、アイルランドのカトリック看護師組合のマアリー・ドローラン氏がWHOにおけるCICIAMS代表にそれぞれ選出され、両名とも2期目の任期を務めました。ドローラン氏はまた、出席した執行委員会メンバーを紹介し、CICIAMSの活動への貢献に感謝の意を表しました。

総会において、カナダカトリック看護師全国協会がCICIAMSの加盟協会として承認されたことが発表され、歓迎されました。

#### 閉会ミサ

閉会ミサはクチンのセント・ジョセフ大聖堂で行われました。クチン大司教、サイモン・ポー大司教が主司式を務めました。説教の中で、大司教はマレーシアへの来訪を受け入れてくださったすべての参加者に改めて感謝の意を表しました。また、マレーシアのカトリック看護師たちの尽力に感謝の意を表し、それぞれの国へ帰られるすべての参加者に神の恵みが豊かにありますようにと祈りました。

全体的に見て、そして多くの参加者のコメントからも、会議はよく組織され、成功していたと言えます。マレーシアの看護師たちは、

素晴らしい！神に栄光あれ。

ドナトゥス・M・アクパン  
事務総長



## 「わたしの民は知識の欠如のために滅びる」(ホセア4:6)

ホセア書4章6節「わたしの民は知識の欠如によって滅びる。あなたがたが知識を拒んだので、わたしもあなたがたを祭司職から拒む。あなたがたが神の律法を無視したので、わたしもあなたがたの子供たちを無視する。」

今日の世界では、不思議に思わざるを得ない。

私は、礼儀正しき多くの奥の奥の自分自身や家族を、そして生活環境に大きな悪影響を及ぼす可能性のある時事問題を把握しておらず、行動を起こさない。このテーマは、神の民の指導者として、あるいは親として、私たちの多くが深く理解しており、ある特定の点を強調するために何度も引用してきたものであると言わざるを得ない。

作った人たちがいる

彼らは生活の一部を教える際に逸脱し、その結果、託された羊たちを不当に利用しています。教会に属する私たちは、「教導職（マギステリウム）」に積極的に耳を傾けるよう求められています。これは、私たちが正しく導かれるために非常に重要です。私たちが現在、そして現在活動しているすべての教区において、私たちは人生に触れる働きを行っている地域教会の権威に耳を傾けなければなりません。

ホセア書4章6節「わたしの民は知識の欠如によって滅びる。」ここで神は、彼らが聖書、すなわち祭司と預言者から何を学ぶべきかについて言及しています。彼らはまず霊的に滅ぼされるでしょう。イスラエルの民が学ばなかった教訓を私たちは学ぶべきであり、彼らの過ちを正すよう求められているのは、ただ耳を傾けるという条件付きです（現代の最大の課題の一つは、耳を傾けることです）。

したがって、次のような問いを問うことが非常に重要になります。イスラエルが破滅に至った「知識」が欠如していたこととは何だったのでしょか。この問いへの答えは、預言者ホセア書4章1-2節に示されています。

「イスラエル人よ、主の言葉を聞け。  
主はこの地の住民に対して告発をなさる。」

この国には誠実も慈悲もなく、神を知ることもない。偽証、嘘、殺人、窃盗、姦淫、暴力、そして絶え間ない流血があるだけだ」。

当時も今もお欠けている知識、それが「神の知識」です。カトリック教会のカテキズム第1章1節「人間の生活」は、「神は人間に、神を求め、神を知り、力の限り愛するように呼びかけておられる」と教えています。

したがって、人間の人生は神から始まり、神はこの世で私たちと共に旅をし、私たちが神の恵みに従うならば、神のもとへ帰ることができるのです。もし私たちがこの知識を欠いているなら、私たちは滅びへと向かうのです。

今日、私たちはこの知識がまだ十分に利用できるのかどうか自問するかもしれません。答えはイエスです。今でも入手可能ですが、書籍に収録されています。

聖書を開くことは、そこに記された数え切れないほどの祝福を受けるために、私たち皆がすべき選択です。勇気を出してこれを行う必要があります。

ピーター・オルカヨデ・オデトインボ司教は、2018年にアバオクタ教区の司祭、修道者、信徒に宛てた司牧書簡「世に出て福音を宣べ伝えよ」（マルコ16:15）の中で、人々が滅びるのを防ぐ知識の内容は、まさに神の知識であり、神の救いの計画は教会の宣教と教えを通して実現されると述べています。オデトインボ司教は、知識をその最も深い文脈で理解しようとするならば、それは親密さの概念を呼び起こすと主張しています。「知るということは、神と教会と親密になることを意味します」（15ページ）。

教会から受け取る知識は、私たちが救いのために働きながら、キリストにおける私たちのアイデンティティを常に念頭に置きながら、キリスト教の信仰を忠実に告白できるように私たちに備えさせてくれます。



聖パウロは「知識は人を高ぶらせ、愛は人を造り上げる」と言いました。しかし、これは知識を持たず、無知なままでいることを指して使われるべきではありません。(この場面でパウロは、不信者、つまり偶像と食物の両方への対処について語っています。)

そうです、知識は恵みを伴わなければ、人を高ぶらせてしまうことがあります。プライドが芽生え、自分がとても重要で、なくてはならない存在だと思わせることがあります。福音について(自らの力で)より深い知識を持っていたパウロは、

経験を通して謙虚に保たれるように保証された。主は彼が高ぶることを防いでくださった。

2コリント12:7「私がこれほど多くの驚くべき啓示を受けた後、高慢にならないように、私の肉体に一つのとげが与えられました。それは、私が高慢にならないように私を苦しめる、まことのサタンの使者です。」

現代社会において、キリスト教会には自分たちの都合の良いことを教えようとする人が大勢います。そうした教えは人々を滅ぼし、自分たちの利益のために理性的な思考力を働かせるあらゆるものを人々から奪い去る原因となっています。私たちの祖先である古代イスラエル人は、知識の欠如ゆえに滅ぼされました。彼らはしばしば、主の戒めに反する偽りの神々を崇拝するように導かれた、道を踏み外した教師や預言者に盲目的に従いました。これらの指導者とされる人々は、人々を殺人、盗み、姦淫、淫行、その他の凶悪な罪へと導きました。

ユダ王国は西暦70年について滅ぼされ、神は御子イエスの至高の犠牲を通して教会を設立されました。神は今もなお、御言葉に耳を傾け、御言葉を学び、実践することを拒む者を滅ぼします。私たちは皆、警戒しなければなりません。聖ヨハネは書簡の中で、説教壇から聞くことさえも試練であると語っています。

私たちが地域社会に食料を供給し、キリスト教の集会は「真実」を語る。真実はどこでも語られる。

広く信じられている立場は、キリストが今やその名を信じる私たちの罪を終わらせたので、もはや罪はない、つまり私たちはもう罪を犯さない、というものです。この「多くの監督や牧師の思い込み」は、ヨハネの手紙一3章9節の「神が私たちを聖徒と呼ぶので、私たちはもはや罪人ではない」という誤った解釈に基づいています。福音書記者はこの発言の前に、もしあなたが「自分には罪がない」と言うなら、

あなたは神を嘘つき呼ばわりしていますね。それは深刻な問題だと思えます!

今日、全く教義に反するスローガンがあまりにも多く用いられています。「彼の傷によって私は癒された」と彼らは宣言し、あなたが話すことはあなたが得るものだと言っています。イエスは、「この山に向かって『動いて海に投げ込まれよ』と言えば、それは成る」と述べています。「そして、あなたが祈りの中で信じて求めることは何でも、あなたは

受けなさい。」(マタイ21:21-22)

これは、ただ信仰のスピーチをするようにと指示しているわけではありません。最後に海に投げ込まれた山はどれですか? 障害を取り除くために、主イエスは私たちに祈るようにと指示されました。つまり、私たちは結果とタイミングの両方において神を信頼しているということです。文脈という全体像がなければ、細部を正しく理解することはできません。

現代の私たちにとって、それは信仰ではなく前向きな思考であるにもかかわらず、信仰と呼んでいます。今日のキリスト教指導者たちは、信仰を人間の欲望に操られる力に変え、キリスト教ではなく魔術で私たちを生きさせています。

もう一つの傾向は、私たちがイエスよりも大きな奇跡を行えるというものです。なぜなら、聖書には「あなたがたはこれよりも大きな業を行う」と記されているからです。たとえ使徒たちがイエスの聴衆であったとしても(これは彼らが聖書に記録されている奇跡を行ったことを証明しています)、これは他の記述と合わせて理解されなければなりません。

ルカ7:28にはこうあります。「しかし、私はあなた方に言います。女から生まれた者はだれもヨハネより偉くはないが、神の国で最も小さい者でも彼よりは偉大です。」

答えるべき質問は、私たちがどのように偉大であるかということです。ヨハネはイスラエルに救世主を紹介したため、より偉大な預言者です。

他の預言者たちも彼について語っています。では、私たちはどのようにしてヨハネよりも偉大になるのでしょうか。イエスはこの点について、「よく聞きなさい。しもべは主人にまさるものではなく、使者は遣わした者にまさるものではない」(ヨハネ13:16)と補足しておられます。

ヨハネ14章12-14節には、もう一つの信仰の言葉があります。「よく聞きなさい。わたしを信じる者は、わたしが行くのと同じわざを行うようになり、それよりもさらに大きなわざを行うようになります。わたしは父のもとに行くからです。あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもわたしがやります。それは、父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが何かをわたしの名によって求めるなら、わたしはそれをやります。」

今日私たちが問うているのは「



主イエスよりも優れた、偉大な奇跡を行った者を見たことがあるでしょうか？ 私たちは皆、奇跡の中心を追いかける際には注意しなければなりません（見れば見るほど、理解が薄れていきます…奇跡については、多くの人が悪魔に魂を売り渡しています）。

私たちは皆、時間を投資する必要がある  
神の言葉を知らないまま神の言葉を学ぶことは、神自身を知らないことと同じです（聖ヒエロニムス）。  
私たちカトリック信者は今日、聖ペテロの第二の手紙第2章を徹底的に研究しなければなりません。そうすることで、私たち全員が、周囲に潜む偽教師たちに対抗できるようになります。

彼らは聖書を歪曲して自分たちの省庁の有効性。

今日のキリスト教徒への彼らの贈り物のいくつかは、主に私たちの言語を変えたことです。

- 「私が病気だとか病人だとか言われる時、私は強いのです」。聖書の中でイエスのもて来た病人は、誰も自分が病気ではないと宣言しませんでした。ヨハネによる福音書5章1-9節では、イエスは38年間病気だった男を癒しました（池に飛び込むという意味です）。男は自分が強いと宣言しませんでした。ルカによる福音書5章12節のらい病人も、「主よ、お望みなら、私を清くすることがおできになります」と語っています。

（彼は決して自らを  
浄化されます。

- 「私の分ではない」。では、誰の分なのでしょう？  
神は魔術師に変身した選別。
- 「夜明け前に車の鍵と銀行口座に数百万ドルを受け取ってください」  
（宗教を装って知的な人間が愚か者になるという、極度の愚行）。怠惰は、予言の成就を待ちながら安らかに座っている多くのキリスト教徒の匂いとなっている。

カトリックの看護師として、私たちは様々な教区共同体と協力して、  
健康セミナー、定期的な血液検査の開催  
血圧／血糖値、そしてあなたの担当分野で一般的と思われるもの。これらは、看護師ギルドのサービスとして、教区で年に2回開催することができます。

最後に、シラ書38章1-15節について深く考えてみましょう。「医者を敬いなさい。あなた方は彼を必要としているからです。そして、神ご自身が彼を立てられたのです。実際、癒しは至高者から来るのです。癒しの賜物は主権者から来るのです。医者専門知識は彼に名声を与え、権力者からの称賛を得ます。主は地に生える薬草を創造されました。賢明な人はこれを軽蔑しません。主が水を浄化するために、ただの木の棒を使われたことを思い出してください。それは、その力がすべての人に知られるようにするためでした。主は人々に知識を与え、その偉大な業において栄光を与えられるためです。医者はそれを癒し、慰めるために、薬剤師はそれを調合するために使います。このようにして、主の御業は決して止まることなく、地上に幸福が行き渡ります。息子よ、病気の時は心配するな。主に癒しを祈りなさい。悪い習慣を捨て、手を清めて、すべての罪から心を清めなさい。香をたき、上等の小麦粉を記念の供え物としてささげ、また、あなたの資力に応じて豊かな供え物をささげなさい。それから、医者に相談しなさい。彼が

主によって定められたものですから、主を無視してはなりません。あなたは主を必要としているからです。健康が医師にかかっている場合もあります。医師もまた、いと高き方に、痛みを和らげ、癒す恵みを与えてくださり、命を救うよう祈るのです。

私たちは看護します！キリストに！

オーギュスティン・メダイエドゥ・アンブローズ、CMF  
アベオクタ教区

#### 参考にした書籍

1. カトリック教会のカテキズム
2. 2018年 ピーター司教の司牧書簡  
オルカヨデ オデトイインボ
3. 新しい共同体聖書（カトリック版）。



# 健康のための教育：

## 誰の責任？親の視点

### 導入

教育はオックスフォード・アドバンスド・ラーナーズによって説明されている

辞書第6版では「知識を向上させ、技能を発達させるための教育、訓練、学習の過程」と定義されています。前述のように、教育の主目的は、最終的には知識の伝達または技能の習得にあります。

### 成長と発展を促す

個人、家庭、組織、機関、または状態の改善。

健康は前述の辞書で次のように定義されています。

「人の体や心の状態」。

### 教育と健康の関係

したがって、健康教育の概念は、最終的には教育、訓練、学習のプロセスであると定義することができます。

人の心身の状態の改善につながるはずですが。

人間として、私たちは主に家庭と職場の環境の中で活動しますが、この講義の目的上、主に家庭環境に限定します。

### 家はたいてい

どこに住んでいて、

付属物。これには、私たちが住んでいる場所の直接的な環境も含まれます。

家は私たちの活動のほとんどの中心です。学校、仕事、旅行、その他家以外の活動は、家から出発するからです。

おそらくそれが、霊的な意味で家が

基本的な規範や

教えが伝えられる。肯定的な、あるいは

否定的な価値観が個人に教え込まれる可能性があります。

これらの価値観が伝えられると、知識の結果は

獲得した能力は、外の世界と出会ったときに現れるのです。

家庭教会として、家庭は主要な場所となることが期待されています

教育に関する選挙区

肯定的な価値観。これらの肯定的な価値観は、様々な形、形態、方法で表現されますが、それらは価値観体系として要約することができます。健康教育は適切に構築された家庭環境の主要な構成要素です。

健康教育または健康のための教育とは、特に家庭や家族の中で人々に健康の多くの利点について教育するプロセスである。

健康的な習慣や実践を続けることについての知識を持つことに内在しています。

世界保健機関は健康教育を次のように定義しています。

「意識的に構築された機会

何らかのコミュニケーションを伴う学習は、

健康リテラシーの向上、知識の向上、

個人と社会に貢献するライフスキルを育成する

「コミュニティの健康」。

したがって、促進、維持、そして

健康の回復は健康教育の第一の目的です。

教育の目的

健康のために

以上のことから、健康教育が多く理由から非常に重要であることは疑いようもなく、いくつかの理由が強調されている。

下に：-

a. 家庭内の人々が健康的な生活に興味を持つようになります。

b. 健康リスクのない環境を保証します。

め 健康問題に関する家庭内の知識と、健康な家庭を築くための努力の必要性を高めます。

d. 家族の健康を守るのに役立ちます

課題。

A. 動機

家は主に人間とその他の生物および無生物で構成されています。異なる種類の人間、そして場合によっては家畜が混在することは、環境の健全性を損なうものであり、厳格な

健康的な環境を確保するための教育の遵守は、家庭内の全員が意識的に、意図的に家庭と地域社会のために働く動機となる。

健康な個人

意識的であり、最終的には健康な家族につながります。

健康的な生活を送る必要性について適切かつ十分な教育環境は、家庭の人々が、より良い環境を作り出す方法や手段についてさらに研究する動機となる可能性がある。



家庭や地域社会の構成員にとって、はるかに良い生活環境になります。

情報への露出

テクノロジーは長年にわたって家族を動機付けるのに役立ってきました  
十分以上のものを提供することで知識を獲得する

生活環境の改善に関心を持ち、自分自身の健康状態に対する責任感を育むために必要なすべての情報を提供します。

個人として、  
家族としても、そしてコミュニティとしても。

感染症対策では、健康教育が一般的に

特定の集団が病気について何を知っているかの評価、その集団の習慣や態度の評価などが含まれる。

家庭やより大きなコミュニティのメンバーが、病気の蔓延や頻度と、顕著な健康問題を制御および予防するための具体的な手段の提示に関連している。

親として、私たちはそれぞれの家庭において、健康教育の主導的な推進役を務めるという、非常に特別な立場に置かれています。この立場において、私たちは

それぞれのメンバーの健康習慣に影響を与える

家庭において、肯定的で持続的な行動パターンの発達と維持のための土台を築くことによって、親子関係を良好に保ちます。ある作家はかつて、「この介入において、親は3つの役割を果たします。それは、サポートを提供すること、模範となること、そして制限を設けることです」と述べました。

2.確保

環境フリー

健康リスク

親として、私たちはメンバーを適切に教育するという特別な立場に置かれています

それぞれの家庭で、清潔で危険のない健康的な環境を作り、育み、維持する必要性について考えましょう。

この役割の重要性は、家庭には主に人間が住んでおり、その中には、生来非常に活動的で、走ったり、ジャンプしたり、自転車に乗ったり、その他の身体活動を行うなど、身体的かつ健康に負担がかかる可能性のある活動に従事する子供たちもいるという事実を認識することで、さらに強調されます。

活動。

したがって、親として、私たちは、前述のことを理解した上で、私たちの生活が環境は、適切な成長と発達に役立ちます

子どもたちや家族の他のメンバーを守ります。私たちは環境が

定期的に非常に清潔かつ安全に保たれています。これは、掃き掃除、洗浄、燻蒸、草刈りなど、いくつかの方法で行うことができます。

切る、ほこりを取るなど

健全な環境を確保することは、親や家庭の他の人々にとって終わりのない課題であることを認識しなければなりません。健全な環境を作り、清潔で、子どもが育ちやすく、危険のない環境を維持することは、いくら強調してもしすぎることはありません。親として、私たちは常に知識をアップデートし、家庭や地域社会を安全に保つための方法や手段を常に更新し続けなければなりません。

環境をきれいにし、私たちは

私たちの家族のメンバーが得た知識。

3. 増加中

健康問題に関する家庭内の知識

ほとんどの家庭、特に子供がいる家庭では、

多動性になる。そのため

親の義務は、必要な指導と適切な道具と必要な支援を提供することで、子供の多動性を抑制することである。

子どもたちに健康に関する事柄を指導するための情報。

イタリアの小説家で記号学者のウンベルト・エーコはかつて、「学習とは、何をしなければならないか、何ができるかを知ることだけでなく、何ができるか、そしておそらく何をすべきでないかについても知ることであり」と主張しました。

上記のことを親としての役割に当てはめると、トーマスの永遠の言葉も思い出さなければなりません。

スコットランドの歴史家で作家のカーライルは、次のように述べています。「あなたにとって最も身近な義務、つまり義務だとわかっていることをやりなさい。」

2番目の任務はすでにより明確になる」。

上記の賢明な言葉は、親として私たちに目を覚まさせるよう呼びかけています。

提供の責任

家庭のメンバーに十分な知識を与え、

家庭内の全員が健康管理の必要性について知識を持ち、健康的な生活習慣を身につけて育むことが常に必要であることを地域社会に伝えます。

私たちは、家庭環境において必要なものがすべて適切に備えられていることを確認しなければなりません。

家を清潔に保ち、健康を最善の状態に保ち、危険のない生活を送るための知識。家庭で伝えるべき健康教育の知識は尽きることがなく、ここではほんの一部を紹介したいと思います。

1) 朝晩と食後にきちんと歯を磨く

2) 特に朝と就寝前に定期的に入浴する

3) 衣服を洗濯し、下着は定期的に着用し、適切に乾かしてください。

4) 食べ物を適切に調理する



非常に衛生的な環境で  
5) 使用前後に食器を洗う

6) 定期的に家の掃き掃除やほこり取り  
を行い、できるだけ定期的に環境を燻  
蒸消毒する。

リストは尽きることなく続きますが、親として  
私たちは決して諦めてはいけません。なぜな  
ら、これらすべてを実践することで、健康で  
幸せな家庭を築き、維持することができるか  
らです。

4.維持するのを助ける  
メンバーズ  
家庭無料  
健康上の課題

箴言22章6節は、私たちの注意を非常に簡潔  
に喚起しています

親としての責任。聖書の一節には  
「子とその行くべき道に従わせよ。  
そうすれば年老いても、その道から  
離れることはない」とある。

前述の文章は、焦点となっているトピック  
に関連している可能性があります。  
私たちの日々の活動のすべてにおいて  
特に健康に関わることに限っては、親が十分  
な時間をかけて、

多大な努力を

それぞれの子供たちと他のメンバーの訓練

健康問題は非常に重要であるという事実を  
意識する必要性について家庭に訴える

真剣に考え、家族全員が

健康を維持するための適切な措置。

テモテ4:10-11は私たちにこう警告  
しています。「私たちは、すべて  
の人の救い主である生ける神に希  
望を置いているため、苦勞して働き  
続けるのです。

特にすべての信者に。これらのことを教え、

誰もがそれを学ぶ」

「健康は財産」や「清潔は神に次ぐ」といっ  
た有名な格言は、きっと誰もが知っているこ  
とでしょう。これらの賢明な格言を適切な文  
脈で捉えれば、私たち一人ひとりが、自らの  
選択、自ら示す模範、そして自らが定めるルー  
ルを通して、子どもや家族の健康に影響を与  
えることができるという、独自の立場へと、常  
に挑戦し続けることができるでしょう。

したがって、私たちは常に、家庭内で

環境問題において、親である私たちは、子ど  
もや家族に健康を維持することの大切さを  
教えるという法的かつ精神的な義務を負っ  
ており、そのための最良の方法は、健康教育  
に常に重点を置くことです。

結論：

私たちは、  
前述の文章では、健康教育のさまざまな  
展望について述べてきましたが、  
親の役割を重視する。

家庭内の親が自らの責任に目覚めなければ、  
いかなる家庭も良好で持続可能な健康を達  
成することはできないというのが筆者の主  
張である。

したがって、私たちは、家族全員の全体的な  
健康と幸福を確保するために、すべての親に  
健康教育の問題を非常に真剣に受け止める  
よう呼びかけます。

エマニュエル・イロバ・KSM

## クレッシェンド

CICIAMS代表のアンマリー・ヴレニク氏の辞任に伴い、

クレッシェンドの取締役会と国際会長が必要であるため、CICIAMSの個人会員であったが、  
新代表取締役会と国際会長が、CICIAMSを代表してクレッシェンドの取締役会に出席することを申  
請しました。理事会の承認を得て、ベアトリス・ヴァン・ドルサー氏がCICIAMSの新たな代表としてク  
レッシェンド取締役会に出席することになりました。ちなみに、ベアトリスの任命はクレッシェンドの取締  
役会と重なっており、彼女は快く出席しました。

ベアトリスはフランス語を話し、理解することができ、長年にわたりCICIAMSの会員として活動して  
います。また、1990年から高齢者ケアの分野でも積極的に活動しています。  
CICIAMS は彼女のこの新たな任務を祝福し、彼女の成功を祈っています。



## 列福式 第一看護師

2018年4月28日 CICIAMSインターナショナル

ジェラルド・マクスウェル・ヘンリーの神の息子の長女として、クラクフのカトリック看護師・助産師協会の招待を受け、史上初の平信徒看護師であるハンナ・クザノフスカの列福式に出席し、積極的に参加できたことを光栄に思います。CICIAMSにとって素晴らしい栄誉でした。

祝福されたハンナは模範的な人物でした。看護師、教師、社会活動家、そして深い慈悲の心を持った作家でした。

精神性と素晴らしいウィット。4月29日、45

聖ハンナの命日を記念し、聖ハンナの遺体が安置されている聖ニコラス教会で感謝ミサが執り行われました。クラクフの協会は、聖ハンナの列聖に必要な証拠をすべて収集し、彼女を列福の座に導くためにたゆまぬ努力を続け、多大な功績を残しました。神よ、彼女が近い将来に列聖されますように。

### 歴史

- 1902年10月7日、ポーランドのワルシャワでカトリック教徒の父とルター派の母の子として生まれる。
- 1912年：クラクフに移り、
- ウルスラ修道女会が運営する高校
- 1919年：ポーランド・ボルシェビキ戦争の犠牲者を助けるための赤十字のコース
- 1920年：ヤギェウォ大学でポーランド語と文学を学ぶ
- 1922-1924年：ワルシャワ看護学校
- 1924年：コミュニティ看護を学ぶ
- フランスとベルギー
- 1925年：看護学校設立  
クラクフ
- 1929-1939年：ポーランドの看護師1の編集  
専門看護ジャーナル
- 1935年：1の準備に積極的に参加  
看護法
- 1935年：ポーランド協会副会長  
専門看護師
- 1937年：カトリック連合の設立  
ポーランドの看護師
- 1940年：父がザクセンハウゼンで死去  
強制収容所
- 1940年：ソ連捕虜の弟がカタインで死亡  
ソ連軍による森

### 第二次世界大戦中

- 難民、囚人、避難民のケア



祝福されたハンナ・クザノフスカ  
1902年～1973年

- 慈善団体との連絡係  
クラクフの委員会とドイツ人
- ユダヤ人の救出や保護など、さまざまな秘密活動や違法活動に関与した。
- 兵士とポーランドのレジスタンス戦士
- ユダヤ人の子供を含む孤児の世話、里親探し、クラクフ郊外での若者向けサマーカーンプの開催
- 飢餓に苦しむ子どもたちのために食料と牛乳のバンクを設立
- 休みなく働き、しばしば健康と命を危険にさらした

### 第二次世界大戦後

- 再開した学校の副校長  
看護
- コミュニティ看護部長  
クラクフ看護学校
- 1946年：UNRRA奨学金でアメリカへ  
地域・在宅看護
- 看護教師に地域保健について指導し、



ワルシャワ

- 若い看護師に、病人への真の奉仕の精神、患者を尊厳を持って扱い、身体的および精神的ニーズに注意を払うことを教育することを強調した。
- 1956年 :ティニエツ修道院のベネディクト会修道士となる
- 1957年 :彼女のカトリック信仰と若い看護師への影響は認められず、彼女はクラクフ郊外のコピエジンにある精神看護学校の校長に異動になった。
- 1958年 :1年後にその職を解かれ、引退。

退職後

- 1960年 :コミュニティ看護に関するベストセラー本が出版された
- 孤独、遺棄、高齢者、または

- 組織化された教育クラス、リトリート、医療従事者とそのアシスタントのための巡礼
- カロル・ヴォイティワと緊密に協力、1957年-1973原因&列聖&1998:Ca  
全国看護師・助産師協会  
クラクフはフラン枢機卿に請願書を提出しました  
ciszek!Marcharski、!大司教!クラクフ!to!  
彼女の列聖の動機を書き記す !2015年 :ポベ!  
!フランシスコ !宣言 !ハンナ !尊者 !2017:!  
7月7日、フランシスコ教皇は奇跡的な行為を承認した  
列福への道を開くために彼女に捧げられた2  
018:4月28日列福式、バジリカ大聖堂  
神の慈悲、クラクフ、ポーランド!

奇跡

- ソフィア・シュレダック=コレウインスカ、友人、看護師
- 医学的および外科的治療が不可能な破裂性脳動脈瘤 - 2001年
- 6週間の昏睡の後、脳外傷の兆候は見られず、手足と言語機能は完全に回復した。



左から :看護師兼作家のゴシア・ブリュクテンスカ氏、CICIAMS のジェラルディン・マクスウィーニー氏、神の慈悲のための看護師のマリー・ロマンヤノフ氏。

- 医師は彼女の治癒の理由を説明できなかった
- 物語の続き - 彼女の肉体の命と魂は救われた

聖ニコラス教会（看護師教会）

- 祝福されたハンナの遺骨
- 2018年4月29日感謝ミサ  
彼女の死から45年

祝日：2018年4月28日

祝福されたハンナは、

- キリストとの密接な関係を保ちながら、キリスト教の精神の深淵を体現した高級専門家、アレー人。
- 病人への奉仕を通してキリストとの関係を実感した
- 病人や苦しんでいる人々を世話することで、イエス・キリストご自身に仕えていることに徐々に気づくようになりました。

非効率的な社会主義医療制度に依存しない障害者や慢性疾患患者（教区看護）

- 教会、修道女、学生、家族、近隣の人々からの支援を受けています。
- ポーランドのホスピスの先駆者
- 外出が困難な患者のために休暇やリトリートを企画し、人生の喜びを再発見し、日々の苦しみに耐える力を与えました。
- 病人の家でミサを執り行う習慣
- 病人や外出困難な人々の自宅への司牧訪問 - 司祭と緊密に協力して。

聖ヨハネ・パウロ2世教皇：

- 彼女はキリストの祝福の化身であり、「特に『慈悲深い人は幸いである』と唱える者」でした。（彼女の葬儀で）
- 「これは非常に重要な問題です。注意してください。」（ポストラトゥラに向かって）
- 「彼女はいつも私の心の近くにいました」（ハンナ・クルザノフスカの親戚であるシュレンキエル家との面会にて）

出典: [https://](https://hannachranowska.pl/)

[hannachranowska.pl/](https://hannachranowska.pl/) 2018年5月9日アクセス・変更  
ゴシア・ブリュクテンスカ、福者ハンナ・チャノフスカに関する本の著者



## 反核・核兵器 – 山口生野氏（JCNA会長）、神父の協力を得て執筆。 ケン・スレーマン氏（JCNAチャプレン）とテレサ・マリア・トジピオ氏 （JCNA看護師会員、中島土亜クリニック広島）

仲間の皆さんに挨拶

CICIAMSの看護師として私は来ました。母として、核兵器と原子兵器の廃絶と世界平和への訴えを表明するためにここにいます。73年前、日本で、危険な放射能を帯びた核兵器と原子兵器が、私たちの街を破壊し、多くの命を奪いました。マレーシアで開催されたCICIAMS第20回世界会議において、この重要なテーマについて皆様とお話しする機会を賜り、心より感謝申し上げます。広島平和記念資料館所蔵の感動的なDVD「母の祈り」を鑑賞いただきながら、私のメッセージをお読みいただき、核兵器と原子兵器の廃絶による平和への私の熱烈な訴えに共感していただければ幸いです。

マイゼルフォルテ  
核兵器・原爆の軍縮問題が本格的に動き始めたのは3年前、広島市で開催されたJCNA全国大会の責任者に任命された時でした。私は近隣のJCNA支部代表を務めていました。

その時、私たちは会議のタイトルを「憧れ

「平和 :今、生きることを選ぶ」このタイトルは、73年前、広島市民に降り注いだ放射線の恐ろしい影響を振り返り、平和への決意を表明するものでした。私は、神父、医師、そして原爆被爆者の方々を会議に招き、私たちJCNA看護師にこのテーマについて理解を深めてもらいました。

プレゼンターの皆さん、私たちは全員、核兵器反対と核兵器反対を誓いました  
宣言：「核と人類は安全に共存できない。」

したがって、私たちJCNAのメンバーは反対することを決めた  
「核兵器、原子力、そして原子力を利用したあらゆる攻撃的行為」

私は人類史上最初の原爆投下を受けた広島出身です。第二次世界大戦中、広島は日本の主要な軍事拠点でした。

アジアの征服戦略を練る。

日本兵は去った

広島からアジア各地で戦った。その困難な歴史ゆえに、日本国外の人々がそれほど否定的に受け止めなかった理由も想像できる。

広島への原爆投下のニュースに衝撃を受けた人々も少なくない。しかし、当時の日本は敗戦の瀬戸際、そしておそらくは降伏寸前だったにもかかわらず、

西側連合国は1945年8月6日午前8時15分、「リトルボーイ」という愛称の原子爆弾を用いて日本への攻撃を続けました。その背景を知る私たち日本人にとって、原爆投下は人類に対する残虐さを叫び、悲しみの極みでした。

広島への原爆投下によってもたらされた痛みと苦しみは、DVDの映像を通して、ある程度は感じられ、視覚化することができます。

DVD再生に注意  
山口さんの横に熱烈な演説。「リトルボーイ」ウラン爆弾は即座に14万人を殺し、

さらに10万人が放射線障害の後遺症で命を落とした人々もいた。そして原爆投下の翌日、放射能に汚染された郊外に黒い雨が降り注ぎ、その後、さらに多くの人々の苦しみをもたらした。

広島市民を襲い、さらに多くの人々を殺害した。犠牲者の中には、爆発による火傷の影響でひどく容貌を損なった者もあり、その醜悪な姿は健康者から嫌悪感と嫌悪感を抱かせた。

生存者の多くは白血病の一種を発症し、入院が必要となりましたが、残念ながら一部の人々は彼らに同情心を示さず、終戦後の復興に協力できなかったことを怠惰だとみなしました。原爆被爆者全員は政府から無償の医療支援を受けるはずでしたが、その配分が適切に行われていなかったようで、一部の被爆者は受けられなかったと報告しています。

そのような援助を受けた。爆発後の放射線への恐怖があまりにも大きかったため、人々は偏見によって結婚できない、特定の学校に入学できない、良い仕事に就けないなどの恐れから、広島出身であることを偽っていました。私の研究から、これらの同じ

1945年8月9日に長崎に投下された「ファットマン」の異名を持つプルトニウム爆弾の犠牲者たちが受けた影響は計り知れません。この二つの原子爆弾の生存者、犠牲者、そしてその家族が経験した苦痛と苦悩の深さは、私たちには到底想像できません。それはまさに恐ろしく、彼らの人生を永遠に変えてしまいました。放射能は

原子爆弾の爆発によって放出される放射性物質は、その半減期が終わるまで犠牲者に宿る目に見えない生命の殺戮者である。

放射線汚染による病気の進行過程において、その時点まで生き残った人はほとんどいなかったが

73年経った今もなお、原爆の犠牲者たちは心身ともに苦しみながら生きています。彼らの英雄的な物語は、原子力でさえ地球上の生命にとって危険であることを私たちに気づかせてくれます。2011年3月11日の東日本大震災は、福島第一原発に甚大な被害をもたらしました。

その地域の原子力発電所



放射能を放出する  
魚を汚染する環境、  
その地域では果物、米、野菜などの生産物  
が多く見られました。長年にわたりこれら  
の生産物は摂取できず、住民に身体的、感  
情的、心理的、そして経済的な問題を引き  
起こしていました。  
被災地の住民。その地域から輸入された食品  
は、放射線量が厳しく監視されている。

人体にとって危険なレベル。  
その地域からの放射線に関する報告は

エドフィシアリーによって発表する  
政府も問題を抱えています。

日本では原子力  
電力は、この国の日常生活にとって依然  
として最大のエネルギー源です。  
プルトニウムはこれらの原子炉内の放射性物  
質であり、危険です。私たちは完全に制御でき  
ないエネルギーを、次世代の人々に引き継いで  
いるようです。

残念ながら、日本は原爆と原子力発電所の惨  
事という悲惨な歴史を抱えているにもかかわらず、  
2017年に国際反核兵器条約への署名を拒  
否しました。

ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）が主導  
する  
地球上の核兵器の拡散を阻止するために活動  
しているNGO「核兵器反対」。

問題は、核兵器が大量破壊兵器とし  
ただけでなく、安全保障上の政治的・外交的領  
域においても強力な武器であるという点です。  
この核力政治の好例が、アメリカのトランプ大  
統領、北朝鮮、イランの指導者に関する最近の  
ニュースです。これらの国は比較的小さな国で  
すが、核兵器の存在によってその国の力のイメ  
ージは著しく高まります。「リトル・イーター」  
の壊滅的な爆発を経験した私たち日本人にと  
って、

広島「ボーイ」、長崎「ファットマン」、  
そして都市の破壊を考えると、現在14,900もの  
核兵器が

世界中の兵器庫には、使用されるのを待つ  
ている兵器が眠っています。聖ヨハネ・パ  
ウロ11世は核兵器の問題について考察し、  
次のように述べています。

「核兵器の製造と貯蔵  
武器を持つことは戦争の準備に等しい。誰かが  
ボタンを押せば、全人類は滅亡するだろう」聖  
ヨハネ・パウロ11世が30年前に預言したよう  
に、2018年の今、全人類は人類のこの危険な  
局面に直面している。

歴史。

個人的には、日本の広島で最初の原  
爆投下現場の近くに住んでいる私にとって、

同様の核兵器を使って私たちの問題  
を解決するよう他の国に勧める

対人関係または国際関係  
紛争。爆撃

広島は本当に解決しなかった  
問題は解消され、新たな問題も生まれ、人々  
は今もその問題に苦しんでいます。

平和な世界を築くためには、核兵器と原子力の  
両方に「ノー」と言わなければなりません。広  
島が原爆投下後の復興期に、市民の命の喪失  
を悼む平和祈念のメッセージがありました。

メモリアルパークは、かつてそこに住んでいた  
すべての人々を追悼するために、甚大な被害を  
受けた場所に建設されました。この公園は、命  
を落とした人々に敬意を表すとともに、訪れる  
人々に平和な暮らしを促し、核兵器と原子兵  
器の禁止を促すことで戦争を止めようとする  
気持ちを鼓舞しています。皆さんにもぜひ訪れ  
ていただきたいと思います。

観光客としてではなく、反戦・平和活動家として、  
私の街広島への巡礼を心から歓迎します。原爆に  
よる痛みと苦しみを経験した私たち自身を知り、  
命を救い、未来の世代に地球上の不必要な苦しみ  
を残さないために。私たちカトリック看護師は、憎  
しみと暴力に苦しむ人々にイエスとマリアの癒し  
の愛を届け、危険な核兵器や核エネルギーのない  
健全な人間環境を創造するために、できる限りの  
ことをしなければなりません。私たちの力は愛の  
力でなければなりません。母として、そして看護師  
として、私は次の世代が核兵器や核エネルギーに  
よって危険にさらされるべきではないことを願っ  
ています。ありがとうございます。

## CICIAMSが新会員協会の承認

ICIAMSは、全米協会を歓迎します

Catholic Nurses NACN、カトリックの会員、  
CICIAMSの会員資格申請は2018年9月に提出され、  
関連するすべての資格証明書が添付され、2018年9月3日にマ  
レーシアのクチンで開催された執行委員会の会議で承認さ  
れ、理事会の推薦に基づいて総会に推薦されました。

9月4日にマレーシアで開催された総会において、カナダカトリック看護師  
協会（NCCIAMS）の会員資格取得が承認されました。協会の会長はフリ  
ーダ・チャベス博士、事務局長はイヴォンヌ・ペアレントです。CICIAMSは両  
協会の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。